SL06

映画に、音楽に、こころが動く。

アイヌ民族 × 世界の先住民族をつなぐ

UPOPOY CULTURE FEST

ウポポイ文化交流フェスティバル

2.7 SAT – 14 SAT

意外と知らない世界の先住民族のこと、もっと知りたいアイヌ民族のこと。
この期間だけのイベントやスペシャルゲストを迎え、
先住民族の文化や思いに触れる一週間。
あなたの"世界"が広がる体験が待っています。

詳細はウラ面へ!

UPOPOY
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

特設WEBページ
ウポポイ

多彩でグローバルなイベント＆ステージが目白押し!

2月7日(土)

冬の夜空にあたたかな灯を

しらおい スカイランタン フェスティバル

スカイランタンにアイヌ文様を描いて夜空に向かってテイクオフ。幻想的で美しい光景は圧巻です。

■ペイントワークショップ／16:15～ ヤイハノッカ₅ チセ(体験学習館)
■テイクオフ／17:20～ テエタ カネ アン コタン(伝統的コタン)
■料金:1,000円(税込) ■定員:事前申込110名、当日20名

※白老町特設サイトから要事前申込 ※空席がある場合は当日参加可
主催:白老町 協力:日本スカイランタン協会 会員番号 JSA1HO5853P

申し込みはこちら

2月7日(土)・8日(日)

各地の保存会による芸能共演

アイヌ古式舞踊披露

「春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会」と「白糠アイヌ文化保存会」による共演をお楽しみください。

■日時:2月7日(土) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30
2月8日(日) ①11:00～11:30 ②12:00～12:30
■場所:ウエカリ チセ(体験交流ホール)
■定員:303名※体験交流ホール前で整理券を配布

2月7日(土)・8日(日)

先住民族博物館の最先端事例を知る

国際先住民族博物館シンポジウム

アメリカ、オーストラリア、フィンランド、日本の先住民族博物館の館長の皆様をゲストに迎えます。

国立アメリカン・インディアン博物館(NMAI)館長 シンシア・チャベス・ラマー博士

オーストラリア先住民研究所(AIATSIS)CEO レナード・ビル氏

サーミ博物館SIIDA 館長 タイナ・マレット・ピエスキ氏

各館の取組みを紹介
■日時:2月7日(土)10:00～16:30
■場所:ウウェネウサ₅ トゥンプ(博物館交流室)
■定員:150名

全体シンポジウム
■日時:2月8日(日)13:00～16:30
■場所:ウエカリ チセ(体験交流ホール)
■定員:250名

2月10日(火)～14日(土)

心に残る2作品を特別上映

先住民族映画上映

■場所:体験学習館別館3
■定員:各78名(先着順)

『サーミの血』

(2016年／108分)

■時間:10:00～11:50

スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの合作による、北欧の少数民族サーミの少女の物語。

『永遠ノ矢(トワノアイ)』

(2021年／128分)

■時間:14:00～16:10

ウポポイ名誉アンバサダー宇梶剛士さん主宰の劇団が、2021年に北海道で上演した舞台を映像化。
※2/11(水・祝)は体験交流ホールにて上映

『永遠ノ矢(トワノアイ)』上映＆宇梶剛士さんトークショー 2月11日(水・祝)

■時間:映画上映14:00～16:10／トークショー16:10～16:30
■場所:ウエカリ チセ(体験交流ホール)
■定員:303名
※体験交流ホール前で整理券を配布

国立アイヌ民族博物館 第9回テーマ展示

収蔵資料展 イイェエレプ イコロ −3−

■期間:1月10日(土)～2月23日(月・祝)

資料の収集・保存・修理を通してアイヌ資料を次世代につなぐ取り組みを紹介。

※イイェエレプはアイヌ語で3番目の意味。

2月14日(土)

魂の音色がウポポイに響き渡る

UPOPOY Music Festival

■時間:13:30～16:30
■場所:ウエカリ チセ(体験交流ホール)
■定員:303名
※体験交流ホール前で整理券を配布

台玖線樂團(Siva9 Band)

台湾先住民族のブヌン族とパイワン族によるバンド。ロックやカントリーの要素に、伝統の吟唱を重ね合わせる。

ニンチュプ(nincup)

アイヌ民族の歌や伝統舞踊を取り入れ、ギターの音色とともに物語を語りながら独自のライブを展開する。

お問合せ

公益財団法人 アイヌ民族文化財団(ウポポイ内)
住所:〒059-0902
北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号
TEL:0144-82-3914

営業時間 :9:00～17:00
閉 園 日 :月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)
入場料(税込) :大人(一般)1,200円、高校生(一般)600円、中学生以下無料

入場料が半額になる「14時入場券」と「WEB購入限定200円割引入場券」も販売中!

知里幸恵 銀のしずく記念館

Chiri Yukie Memorial Museum

shirokanipe chise

SL08

nupur pet

2010年9月　登別　知里幸恵の生誕地にオープンしました

知里幸恵（ちりゆきえ）は1903年、この記念館のある現在の登別、ヌプルペッ（登別川）沿いで生れ、アイヌで初めてアイヌの物語を文字化した『アイヌ神謡集』の著者として知られています。1922年に上京先で持病の心臓病のため、19歳という短い生涯を閉じました。アイヌとしての民族意識と誇りをしっかりと持ち、アイヌ語を伝えるという使命を果たした幸恵は、没後、その著書と、そこに込められた精神によってさまざまな人たちに感銘を与え続けています。

「銀の滴降る降るまはりに・・・」この印象的なフレーズで始まるのはアイヌ神謡集の中の一遍「梟の神の自ら歌った謡」です。この記念館は、アイヌ神謡集の象徴ともいえるこの美しいフレーズから「銀のしずく記念館」と名付けられました。
幸恵の遺品や関連図書の展示、アイヌ文化講座、アイヌ語地名のフィールドワークなどの活動をとおして、幸恵の愛したアイヌ民族の文化を広く伝えていくために建てられました。建設資金はすべて個人の方々の募金からまかなわれています。館内には幸恵の日記や手紙、ノートの復刻版などを展示するほか、アイヌ神謡集やアイヌ関連書籍を手にとってご覧いただけます。
知里幸恵をとおして、アイヌ文化の豊かな世界に触れてみませんか？

知里　幸恵
1903（明治36年）－1922（大正11年）

アイヌ神謡集

幸恵のノート

金田一京助からの葉書

幸恵　自筆書簡

住所　059-0465 北海道登別市登別本町２丁目３４－７

入館料

大人	団体（10名以上）	登別市内在住者	高校生	小・中学生
500円	450円	250円	200円	100円

開館時間　AM9：30～PM4：30（入館はPM4：00まで）
休館日　火曜日（祝祭日を除く）　年末年始（１２月２８日～１月５日）
交通機関　JR登別駅より徒歩２０分
都市間交通バス「登別」停留所より徒歩１０分
自家用車の場合　道央自動車道　登別東インターチェンジより約５分
※付近の道路は大型車両の進入が出来ません。
大型バスでお越しの方は事前連絡をお願いいたします。
ホームページ　http://www9.plala.or.jp/shirokanipe/

●お問い合わせ
特定非営利活動法人　知里森舎（ちりしんしゃ）
TEL/FAX（0143）83-5666　mail: shirokanipe@amail.plala.or.jp

会員募集中！！一緒に記念館を応援しませんか？

知里幸恵 銀のしずく記念館　友の会

知里幸恵　銀のしずく記念館をご支援していただける方々に、「知里幸恵 銀のしずく記念館　友の会」へのご入会をおすすめしております。　この記念館は地元をはじめ、全国各地から届けられた善意の募金で建てられました。今後、記念館を長く維持していくために、館の管理・運営資金が必要になってまいります。友の会は、記念館から遠く離れてお住まいの方や、関わりたいが普段の参加は難しいという皆様の金銭的なお力を頂戴するもので、会費はこの記念館の管理・運営のために支出されます。
どうぞ趣旨に賛同された方はお申込みください。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

正式名称	NPO 法人知里森舎（ちりしんしゃ）「知里幸恵（ちりゆきえ） 銀のしずく記念館（ぎんのしずくきねんかん）」友の会
年会費	個人　2,000 円　（一年間入館無料）
	法人　10,000 円　（一年間　20 名まで入館無料）
特典	会員証の提示で一年間入館無料
	年１～２回程度、会誌をお届けいたします
会費振込先	郵便振替口座　０２７７０－１－７９０２８
	加入者名　　特定非営利活動法人 知里森舎

ご入会の場合は、下欄にご記入のうえ、銀のしずく記念館内の知里森舎まで FAX でお知らせいただくか、お電話でご連絡ください。
会費をお振り込みいただいた後、会員証を振込後の最初の月初め頃までに郵送いたします。
その際の振込用紙に「友の会　会費」とご記入くださいますようお願いいたします。

〒059-0465
北海道登別市登別本町２丁目 34-7
知里幸恵 銀のしずく記念館

ご連絡・お問合せ
TEL/FAX　(0143)83-5666

知里幸恵 銀のしずく記念館　友の会　に入会し、記念館を支えます。

お名前　：

ご住所　：

お電話　：